

平成30年度事業報告書

1. 平成30年度の事業概要

平成30年度は新たな中期経営計画の2年目に当たり、かつ学園創立90周年に当たる年でもありました。周年記念式典もつつがなく執り行われましたし、募金活動はじめ各種記念事業も成果をあげたものと評価できます。学園経営におきましても、各部門がそれぞれの課題に積極的に取り組むと同時に、部門間の有機的な連携と、そのシナジー効果による学園全体の経営基盤の強化を目指してまいりました。

以下部門別に見た平成30年度の事業概要を列举します。

こども教育宝仙大学は、質の高い保育者を養成するため、教育の質向上と大学全体の質向上を目指して、新実習方式、マイスター制度も含めた教育活動の強化、研究活動、社会貢献・地域連携等に取り組み、その取組の学内外への発信にも努めました。

平成30年度は、前年度策定した新たなビジョン「こども教育HOSEN WAYを確立する」に向けて、その道筋とした「実践教育を徹底し、優れた保育者を育てる」、「一人ひとりに寄り添い、優れた保育者を育てる」、「90年の信頼＜保育の宝仙＞を受け継ぎ、優れた保育者を育てる」に添った40項目のプログラムを企画実践し、保育者養成教育を一層深化させました。

卒業生の就職では、希望者の就職率97.7%を達成し、そのうち保育職就職者は91.7%となり、地方公共団体等への就職者も7名を数えました。引き続き公務員職への挑戦も含め、就職活動へのサポートを強化していきます。

平成31年度の入学予定者は101名でしたが、7名の入学辞退があり入学者は94名となりました。保育系志願者が減少するなか、志願者動向も毎年変化してきており、募集活動と調査分析機能を強化すべく、30年度から入学センターを設置し、入学定員確保に向け活動しています。

文科省による教職の再課程認定のため、カリキュラムの改定や担当教員の配置等を策定し申請した結果、教職課程の認定を受けました。また保育士資格においても「指定保育士養成施設の修業科目及び単位数並びに履修方法の一部改正」に伴い諸規則の改正を行い、監督官庁から指定保育士養成施設としての認定を受けました。

社会貢献・地域連携においては、こども教育研究センターが主体となり公開講座や、子育て支援広場「ぷちとまと」を開催しました。中野区との連携を継続し、中野区委託事業「保護者支援プログラム」の実施、中野区が実施する実務研修会等への本学教員の講師派遣等を行いました。

中学高等学校共学部「理数インター」は、卒業生174名から、国公立大学および大学校に26名の合格者を輩出しました。また、医学部医学科については現役で新潟大、三重大を含め6名、既卒者は10名、合計16名が合格しました。早慶上理ICUには34名、GMARCHに80名（現役延べ人数）の合格者を出し、7回目の卒業生を送り出す中で、進学校としての基盤をつくりつつあります。今春の入学者は中学229名、高校211名でした。

女子部は、学園の伝統文化である保育文化を担う保育コースに特化した女子校として募集を行い入学者が36名で1クラスとなりました。今後3年ですべての学年が1クラス編成となります。こども教育宝仙大学との高大接続をより進めていきたいと考えています。

小学校では、整備された教育環境のもと、教育内容のさらなる充実に注力しています。英語活動の充実に关しましては、全学年が週1時間実施するようになって5年目に入りました。また、ICT授業関連では、タブレットの導入を進め280台以上を保有するまでになりました。また、ICT関連教室として「My Lab.」を新設し平成30年度からの本格始動となりました。

宝仙小のハブ空港化を目指して様々な業種の方と繋がって未来社会を展望するという取り組みも前進し、全国から公開授業に参加者が集まるようになりました。また、伝統校としての強みと新しいICT活用の魅力を併せ持つ学校として存在意義を高めることができました。

幼稚園では、「遊びの中の学び」を常に意識し、様々な体験を通して各学年での子どもの育ちを生み出していきました。一人ひとりの育ちを確認し、進級と共に個々を生かす保育を展開すべきと、教員間の連携を深めていきました。

また、教育計画を保護者に配布することで本園の教育の理解を深めていくことに努力しました。人として「感応の心」を育てることを大事にし、子どもの育ちと課題を確認し合い、園生活や家庭生活の仕方や関わり方を工夫する手立てとなりました。

今後とも各部門が、教育活動・内容の更なる充実に一体となって積極的に取り組み、「魅力ある学園作り」に努めてまいります。

2. 学校法人の概要

(1) 建学の精神

創立者の目指した教育は「人を造る」教育です。そして「宗教的信念を根底においた人格教育の達成」を目標に定めました。人智を超える巨いなる存在を感得することにより心豊かな人格を育み、生きる意欲を高め、豊かな人生を歩む。創立者が目指した教育は、学園に集うすべての人が、人間の本質を見つめ、そこから人間としての生き方を学ぼうという教育です。

(2) 学校法人の沿革

① 法人設立年月日 昭和23年3月31日

② 学校設置等

昭和 2年 3月	感応幼稚園設置認可
昭和 3年 1月	中野高等女学校設立認可
昭和 10年 3月	仏教保育協会保姆養成所設置認可
昭和 14年 6月	仏教保育協会中野保姆養成所に校名を変更
昭和 19年 1月	中野保姆養成所に校名を変更
昭和 21年 11月	中野高等保育学校に校名を変更
昭和 22年 4月	新制宝仙中学校設置認可
昭和 23年 3月	新制宝仙高等学校設置認可
昭和 23年 3月	財団法人宝仙学園設置認可
昭和 26年 3月	学校法人宝仙学園に組織変更
昭和 26年 3月	中野高等保育学校を廃止し、宝仙学園短期大学保育学科を設立
昭和 27年 11月	宝仙学園小学校設置認可
昭和 29年 10月	感応幼稚園を宝仙学園幼稚園と園名を変更
昭和 29年 10月	宝仙中学校を宝仙学園中学校と校名を変更

昭和 29年 10月	宝仙高等学校を宝仙学園高等学校と校名を変更
昭和 39年 1月	宝仙学園短期大学生生活芸術科設置認可
平成 9年 4月	宝仙学園短期大学生生活芸術学科を造形芸術学科に名称変更認可
平成 10年 4月	宝仙学園短期大学専攻科造形芸術専攻設置認可(学位授与機構認定)
平成 19年 4月	宝仙学園中学校共学部「理数インター」を開設
平成 20年 10月	こども教育宝仙大学こども教育学部幼児教育学科設置認可
平成 21年 4月	こども教育宝仙大学こども教育学部幼児教育学科開学
平成 21年 4月	宝仙学園短期大学保育学科学生募集停止
平成 22年 4月	宝仙学園短期大学廃止

(3) 設置する学校・学部・学科等 (平成30年5月1日現在)

設置する学校	開校年月	学部・学科等
こども教育宝仙大学	平成21年4月	こども教育学部幼児教育学科
宝仙学園高等学校	昭和 3年4月	全日制(普通科)
宝仙学園中学校	昭和22年4月	
宝仙学園小学校	昭和28年4月	
宝仙学園幼稚園	昭和 2年4月	

(4) 学校・学部・学科等の学生数の状況 (平成30年5月1日現在)

学校名	入学定員数	収容定員数	現員数	備考 R1. 5. 1
こども教育宝仙大学	100	400	344	335
宝仙学園高等学校	245	735	699	719
宝仙学園中学校	135	405	534	619
宝仙学園小学校	70	420	445	449
宝仙学園幼稚園	—	315	285	281

(5) 役員の概要 (平成30年5月1日現在)

区分	定員数	現員数	常勤・非常勤
理事	7～10人	9人	常勤—7人 非常勤—2人
監事	2人	2人	非常勤—2人

(6) 評議員の概要 (平成30年5月1日現在)

区分	定員数	現員数	常勤・非常勤
評議員	19～28人	19人	常勤—11人 非常勤—8人

(7) 教職員の概要

(平成30年5月1日現在)

区分	大学	高等学校	中学校	小学校	幼稚園	本部	合計	
教員	本務	19	44	32	24	17	0	136
	兼務	22	37	23	2	5	0	89
職員	本務	18	8	4	3	2	2	37
	兼務	4	7	3	2	2	1	19

3. 事業運営の概要

理事会、評議員会では、決議事項、報告事項等について討議及び承認が行われました。会議内容は以下の通りです。

(1) 理事会開催の状況・・・平成30年度開催回数8回

<主な議案>

- ・役員、評議員の改選について
- ・平成29年度事業報告について
- ・平成29年度収支決算について
- ・平成30年度補正予算について
- ・2019年度経営計画・収支予算計画について
- ・学園規則類の制定・改廃について

(2) 評議員会開催の状況・・・平成30年度開催回数5回

<主な議案>

- ・監事の改選について
- ・平成29年度事業報告について
- ・平成29年度収支決算について
- ・平成30年度補正予算について
- ・2019年度経営計画・収支予算計画について

(3) 監事業務の状況

- ・理事会、評議員会への出席状況（理事会5回、評議員会5回）
- ・監事監査の実施（会計監査2回、業務監査3回、監査方針打合せ会1回）

(4) 法定監査の状況・・・平成30年度実施回数16回

- ・監査法人による会計監査の実施

(5) 平成30年度の主な教育活動

<大学>

- ・本学園幼稚園での体験学習（H30.5・11・12月）
- ・体験学習 保育所・施設（H30.7・11月）
- ・教育実習（H30.5/28～6/22）
- ・園長・施設長懇談会の開催（H30.7/4）
- ・救急救命講習開催（H30.7/14）
- ・保育実習Ⅰ（施設）実施（H30.8月～9月）

- ・課外プログラム2年次生：国内／富山県利賀村（H30.8/17～8/21）
- ・課外プログラム3・4年次生：国外／オーストラリア（H30.8/31～9/7）
- ・東北再生「私大ネット36」南三陸プログラム参加（H30.8月・H31.3月）
- ・「HOSEN 子どもフェスティバル 2018」開催（H30.10/20・11/18）
- ・保育実習Ⅱ・Ⅲ（保育所・施設）実施（H30.11月～12月）
- ・区民公開講座「0歳からのコンサート～歌の遊園地～」開催（H30.11/3）
- ・第10回図書館講演会開催（H30.12/13）
- ・2年次ゼミ発表会開催（H30.1/16）
- ・大学入試センター試験 東京女子大学と共同実施（H31.1/19・20）
- ・保育実習Ⅰ（保育所）実施（H31.1月～2月）
- ・卒業研究発表会開催（H31.3/7）
- ・第7回学位記授与式挙（H31.3/19）
- ・子ども教育研究センター「2018年度 活動報告書」発行（H31.3月）
- ・子育て広場「ぷちとまと」開催（H30.5月～H31.2月）
- ・中野区委託事業「保護者支援プログラム」開催（H30.5・7・10・12月）
- ・中野区との地域連携/各研修会等に講師として本学教員派遣（通年）

<中学・高等学校>

（共学部）

- ・高校体育祭／東京体育館（H30.5/8）
- ・高2アメリカ研修旅行／スタンフォード大学・ヨセミテ（H30.6/5～12）
- ・高1関西研修旅行／長谷寺（H30.6/10～12）
- ・中学合唱祭（H30.6/15）
- ・中1林間学校／山中湖（H30.7/18～20）
- ・高3夏期講習（H30.7/23～26）
- ・ニュージーランド語学研修（H30.7/29～8/10）
- ・マルタ研修（H30.7/20～8/3）
- ・セブ島語学研修校内（H30.8/6～10）
- ・高校夏期講習（H30.8/27～30）
- ・中学夏期講習（H30.8/28～30）
- ・中2長崎研修旅行（H30.9/5～7）
- ・中3アジア研修旅行／シンガポール（H30.10/31～11/4）
- ・ネイチャープログラム／中1：秩父（H30.11/1）
- ・中学体育祭／エスフォルタ八王子アリーナ（H30.11/20）
- ・中学芸術鑑賞会（H30.12/11）
- ・高2冬期講習（H30.12/20～22）
- ・高3センター試験講習（H30.11/14～12/27、H31.1/4～5に随時）
- ・中学英語プレゼンテーションコンテスト（H31.1/19）
- ・中2職場体験（H31.2/1～5）
- ・中3東京キャンパスDay（H31.2/20）
- ・高校英語プレゼンテーションコンテスト（H31.3/18）

(女子部)

- ・新入生歓迎会（合同）（H30. 4/9）
- ・高Ⅲ感謝訪問（H30. 4/9）
- ・高Ⅰ～高Ⅲ遠足／都内近郊（H30. 5/2）
- ・体育祭／本学グラウンド（H30. 5/26）
- ・高Ⅲ保育コース実習／宝仙学園幼稚園（H30. 5/30）
- ・高Ⅱ保育コース実習／宝仙学園幼稚園（H30. 6/6）
- ・夏期講習（Ⅰ期）（H30. 7/20～24）（Ⅱ期）（H30. 7/25～28）（Ⅲ期）（H30. 8/22～25）
- ・高Ⅱカナダ研修旅行（H30. 9/13～19）
- ・高Ⅲ保育コース保育実習（H30. 9/28）
- ・芸術鑑賞会（H30. 11/7）
- ・高Ⅰ・Ⅱ保育コース保育実習（H30. 11/21）
- ・冬期講習（H30. 12/20～22）
- ・合唱祭（H31. 1/26）
- ・先輩を囲む会（H31. 2/18）
- ・新高Ⅰ春の勉強会（H31. 3/22、25）

<小学校>

- ・宝仙小オリジナルテキスト等を活用した授業の展開（年間）
- ・宝仙の国語（漢字ドリル）、宝仙の算数（算数ドリル）、宝仙の理科、社会問題集
- ・国公立・私立中学校受験に向けた習熟度別授業、補習の実施（年間）
- ・中学入試判定会議の充実（11月）
- ・安定した入口と出口の成果を確認
- ・1～4年の英語活動 / 中島教諭 担当
- ・5、6年の英語活動 / 中島教諭と外国人講師（年間）マイケル 担当
- ・サッカー、金管バンド、笛クラブなど朝の課外活動も活発
- ・iPadを活用した授業の実践（年間）
- ・研究授業・研修会を年間講師 梶浦真先生を招聘し実践
- ・ICTの公開授業をネット上に発信し全国規模での来校者を実現
- ・理科 社会など各教科でiPadを活用した授業を展開 授業の可能性を広げ、児童がオリジナルな学習・主体的学習への変貌を遂げつつある
*研究主任を中心とした研究部の活躍が大前提
- ・広報担当 入学対策担当のホームページ・スクールガイド等を含めた対応力の充実
- ・公開授業 学校説明会の充実と参加者の増加に繋がる活動を展開
プレゼンテーションの工夫
- ・宝仙小の未来設計の柱として「ディプロマポリシー」の作成に着手

<幼稚園>

- ・戸外遊びの充実／人工芝での遊びの工夫
- ・英語教育／年少・年中・年長ともに原則週1回 行事に英語指導を組み入れる
- ・本学園大学との連携教育活動／リトミック教室（年10回）
- ・本学園小学校との連携教育活動／理科実験教室（年間3回）

- ・園内研修の開催／研究保育（保育者の保育を見学、意見交換し保育力を高める）
保育者の表現力を高める講演と実体験を行う
- ・仏教行事／花祭り、両大師祭、みたままつり、おつとめ（11回）、地藏祭（11回）
- ・避難訓練、防犯訓練の実施（年間6回）、AED講習会開催（H30.8/30）
- ・公開保育・体験入園・入園説明会／2・3年保育と満3歳関係と実施時期を分ける
- ・進学講演会開催／①講師：野倉学（H30.6/1） ②講師：吉岡俊樹・奈良匠（H31.1/31）
- ・母の会主催講演会／①講師：今井景子（H30.4/27） ②講師：箕浦健治（H31.1/17）
- ・中央線沿線私立幼稚園合同説明会参加（国立学園小学校にて）（H31.2/17）
- ・「楽しい子ども会」実施／園児表現活動を保護者参観（H31.2/19～22）

<全学園>

- ・創立者忌日法要（H30.6/29）
- ・創立90周年記念式典・祝賀会（H30.9/8） 於 式典・宝仙ホール 祝賀会・京王プラザホテル
- ・合同学園祭「宝仙祭」の開催：大学、高等学校、中学校、小学校、幼稚園（H30.10/20～21）
＜統一テーマは「ひらけ私の宝仙花」＞
- ・創立90周年記念祝賀会（教職員）（H30.12/6） 於 west53rd日本閣

（6）平成30年度の主な事業活動

<学園の活動>

① 学園経営の改革・改善及び学園運営に関する事項

- ・宝仙学園職員出勤簿整理規程の一部改正（H30.7/1施行）
- ・宝仙学園職員出勤簿整理規程別表の一部改正（H30.7/1施行）
- ・宝仙学園就業規則の一部改正（H30.7/1施行）
- ・宝仙学園給与規定の一部改正（H30.7/1施行）
- ・こども教育宝仙大学学術研究倫理に係る規程の一部改正（H30.4/1 施行）
- ・こども教育宝仙大学学術研究活動の不正行為への対応に関する規程の一部改正（H30.4/1施行）
- ・こども教育宝仙大学納付金の減免に関する内規の一部改正（H31.4/1 施行）
- ・こども教育宝仙大学学則の一部改正（H31.4/1 施行）
- ・こども教育宝仙大学こども教育学部幼児教育学科履修規程の一部改正（H31.4/1 施行）
- ・こども教育宝仙大学教職課程履修規程の一部改正（H31.4/1 施行）
- ・こども教育宝仙大学保育士養成課程履修規程の一部改正（H31.4/1 施行）
- ・宝仙学園高等学校学則の一部改正（H31.4/1 施行）
- ・宝仙学園役員報酬規定の一部改正（H31.4/1施行）
- ・宝仙学園副理事長の業務基準の制定（H31.4/1施行）
- ・宝仙学園常務理事の業務基準の制定（H31.4/1施行）
- ・宝仙学園理事長補佐の設置に関する規定の制定（H31.4/1施行）
- ・宝仙学園宝仙季報委員会規定の制定（H31.4/1施行）
- ・宝仙学園事務規則組織の一部改正（H31.4/1施行）
- ・宝仙学園資金運用規程の制定（H31.2/1施行）
- ・宝仙学園人事評価制度実施規程の一部改正（H31.4/1施行）

② 教育環境整備の推進状況

- ・大 学 3号館空調設備、衛生設備及び332教室等改修 (5,980万円)
- ・中 高 1号校舎照明LED化 (1,190万円)
ICT教育環境整備 (1,280万円)
食堂什器・照明等リニューアル (980万円)
- ・小学校 ICT教育環境整備 (1,170万円)
教務システム (470万円)
什器、印刷機等 (1,000万円)
- ・幼稚園 保育室照明LED化 (250万円)

③ 学園運営管理施策の推進状況

- ・平成30年度監事への経営報告会の実施 (年3回)
- ・2019年度経営計画の部門別検討会の実施 (H31.1/28~2/1)
- ・政策会議の実施 (年3回)